

主催: 日本音楽療法学会東海支部

協力: 鈴鹿大学短期大学部

第 17 回日本音楽療法学会東海支部大会のご案内

第 17 回日本音楽療法学会東海支部大会

大会長 市野 聖治

(鈴鹿大学短期大学部学長)

実行委員長 鶴 飼 久美子

第 17 回東海支部大会を、「医療と地域福祉における音楽療法を考える」を大会コンセプトに、下記のように鈴鹿大学短期大学部で開催する事になりましたので、ご案内いたします。実行委員会では、参加者の皆様にとりまして意義深い大会となりますよう準備を進めておりますので、多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

会 場 : 鈴鹿大学短期大学部 三重県鈴鹿市郡山町 663-222

日 時 : 2018 年 3 月 18 日 (日) 9:20~17:10 (予定)

大会プログラム

8:45 ~ 9:20	受 付
9:20 ~ 10:50	研修会 I : 地域における音楽療法の役割 (地域報告より)
11:00 ~ 12:30	研修会 II : 講師 今村ゆかり氏 ● 地域移行支援としての音楽療法の取り組み ● ~ 精神科デイケアでの実践を考える ~
12:30 ~ 13:15	昼食休憩
13:15 ~ 13:20	開会式、大会長挨拶
13:20 ~ 13:50	総会
13:50 ~ 15:20	基調講演 : 講師 田部井賢一氏 ※一般公開 ● 認知症に対する音楽療法 ●
15:30 ~ 17:00	研究発表 口頭発表・ポスター発表
研究発表終了後	閉会式

基調講演

「認知症に対する音楽療法」とのテーマで、三重大学大学院医学研究科 認知症医療講座 助教 田部井賢一先生にご講演いただきます。

田部井先生は、同講座の佐藤正之准教授とともに音楽認知の脳内機構 認知症ネットワークの構築を研究課題とされています。2015年には、音楽に合わせた体操が、計算ドリルやゲームを使う「脳トレ」に比べ、軽度から中等度認知症患者の日常生活における行動の維持に有効であると、米国の医学誌「Journal of Alzheimer, s Disease」(電子版)にも掲載されました。

今回は、音楽療法士あるいは音楽療法に関心をもっておられる方々にとって、医学の視点から貴重なお話が伺えるものと思います。

研修会 I・II

I では、東海支部内の社会福祉協議会・包括支援センターといった団体や機関が関わっている音楽療法の取り組みを発表していただきます。さらには、音楽療法士の役割、活躍の場を広めることなどについて、参加の皆様とともに

考えたいと思います。

IIでは、「地域移行支援としての音楽療法の取り組み」～精神科デイケアでの実践を考える～とのテーマで、統合失調症・自閉症・認知症などを対象とした臨床家として活躍されています東海大学教養学部芸術学科講師今村ゆかり先生にご講演いただきます。

研究発表

口頭発表とポスター発表を行います。演題募集案内は、すでに11月中旬にお手元にお届け致しましたが、ぜひとも多くの会員の方々のご応募をお待ちしています。

【事前申込み】

2018年2月2日(金)までに、参加費を同封の専用払込用紙または、郵便局備え付けの払込み用紙にてご住所・お名前・会員番号を明記の上、下記口座にお振り込みください。

口座番号：00830-6-137204

加入者名：日本音楽療法学会東海支部大会実行委員会

参加費

	事前申込み※ (~2018年2月2日まで)	当日参加
正会員	1,000円	1,500円
賛助会員	500円	1,000円
一般・学生	500円	1,000円

※2月3日以降に申し込みされますと、当日参加となります。

キャンセル・返金について：一旦、振り込まれた参加費は返金できませんので、ご了承ください

問い合わせ先

大会実行委員会専用メールアドレス jmta-tokai2018@suzuka-jc.ac.jp

会場：鈴鹿大学 近鉄名古屋線 千里駅下車。タクシーにて6分、徒歩25分。大学構内無料駐車場有。



【スクールバスを運行予定です】

近鉄白子駅より開始・終了時間に合わせてスクールバスを運行する予定です。詳細は、事前申し込みをされた皆様に事前案内でお知らせします。

【スクールバスご利用の場合】

参加費の振込用紙の通信欄に「スクールバス利用希望」とご記入ください。